

令和3年度

オンライン講座

第7回

旧日向別邸 IV

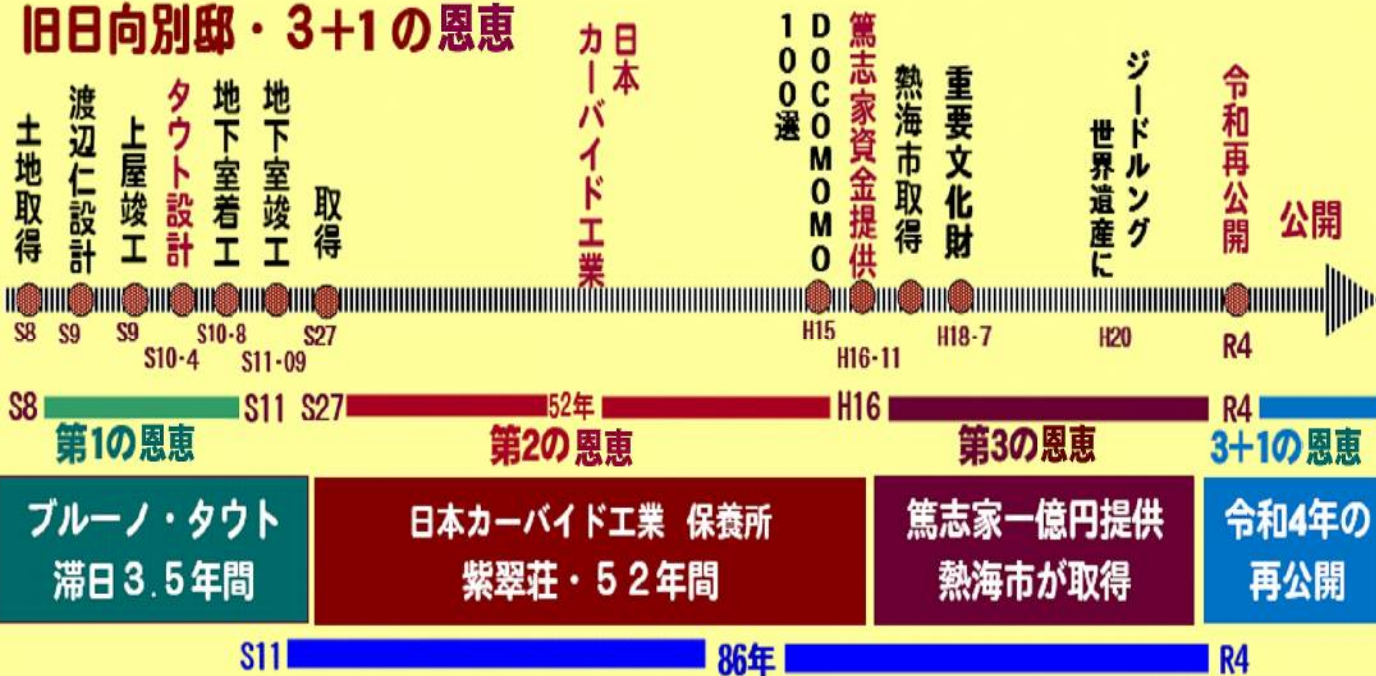
07

2021
7月
No.07

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海

旧日向別邸・3+1の恩恵



S8	S11 S27	H16	R4
第1の恩恵	第2の恩恵	第3の恩恵	3+1の恩恵
ブルーノ・タウト 滞日3.5年間	日本カーバイド工業 保養所 紫翠荘・52年間	篤志家一億円提供 熱海市が取得	令和4年の 再公開
S11	86年	R4	

旧日向別邸 講座リスト

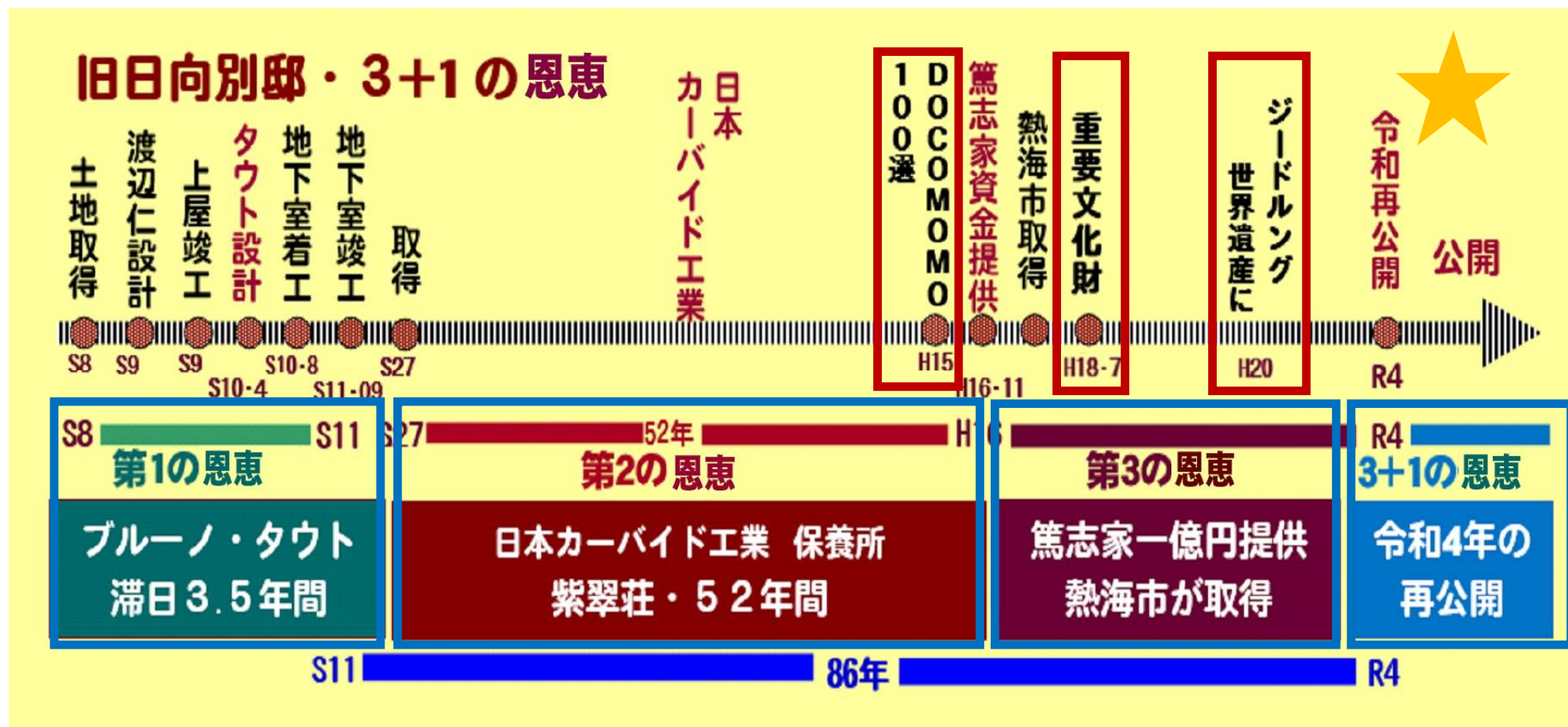
No.4	No.5	No.6	No.7
<p>総論</p> <p>昭和8年~11年の時代 日向・熱海・日本</p> <p>昭和8年~11年の偶然 タウトと旧日向別邸</p> <p>建設立地</p> <p>海への眺望</p> <p>旧日向別邸の眺望</p> <p>眺望 朝と夜</p> <p>3回の工事と3つの目線</p> <p>屋上庭園</p> <p>タウトの設計受託</p> <p>タウトの躯体変更</p> <p>関わった特異な人々</p> <p>旧日向別邸 3-1の恩恵</p> <p>旧日向別邸の今</p>	<p>各論-1</p> <p>関わった人間像</p> <p>三人の人物像</p> <p>日向利兵衛</p> <p>渡辺仁</p> <p>B・タウト</p> <p>他の関係者</p> <p>佐々木嘉平</p> <p>柳沢健</p> <p>吉田鉄郎</p> <p>第一期工事</p> <p>上屋の構成1 居間と暖房</p> <p>上屋の構成2 浴室・温泉</p> <p>第二期工事</p> <p>土留めと躯体 屋上庭園</p>	<p>各論-2</p> <p>第三期工事</p> <p>平面構成</p> <p>躯体変更 風洞</p> <p>階段 広間</p> <p>アルコーブ</p> <p>社交室 1</p> <p>社交室 2 冗談</p> <p>洋風客間 1</p> <p>洋風客間 2</p> <p>和風客間 1</p> <p>和風客間 2 5.5畳間</p> <p>ベランダ</p> <p>諧調と諧調の基準</p> <p>家具 照明器具</p> <p>祝い</p>	<p>各論-3</p> <p>その後 恩恵</p> <p>亡き後から</p> <p>日本カーボード工業</p> <p>篤志家の出現</p> <p>熱海市取得</p> <p>重要文化財の取得と意味</p> <p>取得に当たっての工事</p> <p>docomomo100選</p> <p>世界遺産</p> <p>重要文化財 1</p> <p>重要文化財 2</p> <p>保存と活用</p> <p>初島小学校短歌</p> <p>クリステイーネ・シリーズ</p> <p>多賀そば</p>

建物・完成後をたどる

- 1937（昭和11年）旧日向別邸竣工
 - **1939（昭和14年）日向利兵衛逝去**
 - 1943（昭和18年）大野栄治所有
 - 1945（昭和19年）安原政男所有
 - 1952（昭和27年）日本カーバイド工業株式会社 保養所
-
- **2003（平成15年）docomomo100選**に選定（No.036）
 - **2004（平成16年）日本カーバイド工業、保存を条件に売却
篤志家を経て熱海市取得**
 - 2005（平成17年）3月 旧日向別邸予備調査報告書
9月23日 開館 地下室躯体滑り止工事
 - 2005（平成17年）**8月熱海市指定有形文化財**（建造物）指定
躯体構造補強
 - **2006（平成18年）7月5日旧日向家熱海別邸地下室として
地下室一棟が重要文化財に指定
階段室漏水改修 門扉復原工事**
 - 2008（平成20年）旧日向別邸保存活用計画完成
 - **2022（令和04年）4月再公開**

- 1937（昭和12年）熱海市となる
 - **1938（昭和13年）ブルーノ・タウト逝去**
 - 1939（昭和14年）陽明館
 - 1940（昭和15年）惜櫟荘
 - 1941（昭和16年）第二次世界大戦
 - 1942（昭和17年）潤雪庵
 - 1944（昭和19年）岩崎別邸 凌寒荘 中山新平
 - 1945（昭和20年）ポツダム宣言受諾 敗戦
 - 1950（昭和25年）熱海国際観光温泉文化都市
熱海大火 朝鮮戦争勃発
 - 1957（昭和32年）網代編入
 - 1964（昭和39年）新幹線 東京オリンピック
-
- **1997（平成7年）海峯楼**
 - **2008（平成20年）4つの世界遺産**
 - 2015（平成27年）ラスカ開業
 - 2020（令和2年）キリューションホテル

旧日向別邸 3+1の恩恵



日本カーバイド熱海寮

1952~2004

—52年—

1952（昭和27年）安原氏よりこの別邸を譲りうけた日本カーバイド工業株式会社は、保養所「紫翠荘」として2004（平成16年）篤志家を通して熱海市に売却する52年間を保存した。

日本カーバイド工業は、タウトによるこの施設の保存を強く意識しており、地下室の利用は厳密に限定して使用し半世紀の長きにわたり極めて良好な状態で保存してきた。

売却にあたっては、保存を条件にしていたがむずかしく、篤志家により救われた。

旧日向利兵衛邸(日本カーバイド熱海寮)

熱海市海岸近くの急斜面の山腹にある木造2階建ての住宅に庭園を造るため鉄筋コンクリート造のテラスを張り出し、そのテラスの下に、昭和8年、ブルーノ・タウトの設計により増築された地下室がある。階下に降りる階段は竹の手摺や棕櫚縄で繋ぎ合わせた竹の吊格子を用い、社交室への降り口には竹の手摺を曲げて垣根風に使っている。地下室は大きく手前から社交室、客間、日本間、縁側の4室に分けられそれぞれが純日本式要素と現代的要素を巧みに統合した造りとなっている。

社交室は北側の一角がぎっしり積めた細竹の縦張り、他が鳥の子色の漆喰壁に桐板張りの腰壁。床は檜にチークのボーダーが入り、天井は桐板張り、漁火を模したという小型電球が多数、竹鎖で波型に上下して吊られている。

次の客間は濃い麻脂色の絹貼りの壁が特徴的なやや格調高い雰囲気のある部屋となっている。床は板張り、天井は鼠色の漆喰塗りで間接照明。岩盤の関係で床が1mほど高くなった部分は、上下を繋ぐ階段と合わせて海を臨む観覧席のように造られている。

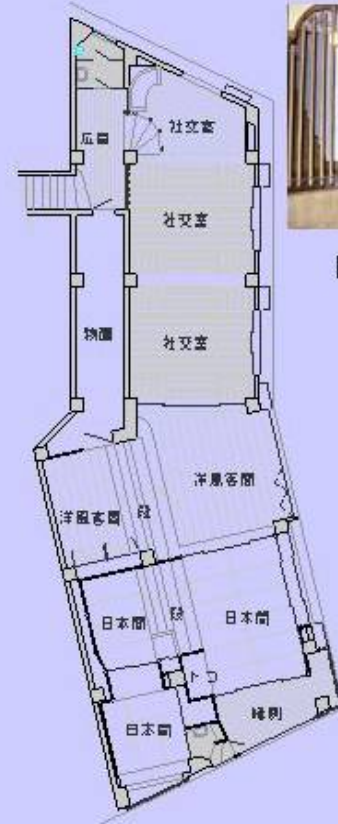
日本間は畳敷き、掉縁天井で壁は鶯色の土壁、柱や鴨居は弁柄色に塗られている。客間と同様に上下2段に分かれ、上段には小さな高座風のものがつく。客間との間仕切の桧の箴欄間も見事である。

最後の縁側は瓦敷き、天井は黒い板天井、壁は白漆喰塗の厳粛な雰囲気で作られている。

全体にタウトが見出した日本美が見事に再現された傑作であり、また日本に現存する唯一のタウトの設計による建築でもある貴重な建物である。



【客間の段】



【社交室へ降りる段】

地階平面図

0 5,000 10,000

【地階平面図】

docomomo Japan

do.co.mo.mo_japan

ドコモモは、

1988年に設立された近代建築の記録と保存を目的とする国際学術組織。本部（DOCOMOMO International）と40か国以上に設けられた支部とから成る。本部は、当初、オランダのデルフトに設置され、2002年からはフランスのパリにある。

「ドコモモ ジャパン」はその日本支部で日本の近代建築の再評価のための活動を行うとともに、取り壊しが予定される近代建築について保存要望書を提出す等の保存活動に取り組む。

関連あるドコモモ建築

No.22 自由学園明日館（T10） エリカ料理教える F.L.ライト設計

No.36 旧日向別邸（S11） ブルーノ・タウト設計

No.38 原美術館（原邸）（S13） 渡辺仁設計

No.40 大阪中央郵便局（S14） 吉田鉄郎設計



No.22 自由学園明日館



No.36 旧日向別邸



No.38 原美術館（原邸）



No.40 大阪中央郵便局

DOCOMOMO Japanでは、その後毎年追加を行っている。

1999年 日本の近代建築選定（20選）

2003年 追加選定（80選）--合わせて100選

2006年追加選定（125選）

2008年追加選定（145選）

2009年追加選定（150選）

2016年（2015年度）追加選定（197選）

2017年（2016年度）追加選定（208選）

2018年（2017年度）追加選定（216選） [1]

2019年（2018年度）追加選定（226選） [2]

2020年（2019年度）追加選定（238選） [3]

2020年現在、238件の建築が選定されている。

docomomo100選 2003

附則 2. 2 DOKOMOMO100選
「日本におけるモダン・ムーブメントの建築100選」

日向別邸・熱海 所有者：日本カーバイト工業（株）
設計者：ブルーノ・タウト

- a. 装飾を用いるのではなく、線や面の構成による美学が適用されている。
- b. 技術の成果がデザインに反映されている。
- c. 社会改革的思想が見られる。
- d. 環境形成（広場や建築群の構成）という観点でデザインされている。



運字局 2003-第 0122 号
2003 年 9 月 18 日

日本カーバイト工業（株）
代表取締役社長 細田篤志郎 殿

社団法人日本建築学会
DOCOMOMO Japan



「日本におけるモダン・ムーブメントの建築100選」へのリストアップのご報告

日向別邸・熱海 所有者：日本カーバイト工業（株）
設計者：ブルーノ・タウト

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本建築学会 建築歴史・意匠委員会及び DOCOMOMO Japan (DOCOMOMO の日本支部) では、このたび「日本のモダン・ムーブメント 100 選」をとりまとめました。これは DOCOMOMO (The Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhood of the Modern Movement) の略で、「ドコモモ」と読みます) という国際組織 (「近代運動にかかわる建物・環境形成の記録調査および保存」のための組織) からの依頼によって 1999 年、各国のモダン・ムーブメントを象徴する現存例 20 件をリストアップし、2000 年の DOCOMOMO 総会で、そのリストとその解説のための刊行物を作成しましたが、さらに 20 を 100 に増やすという作業を致しました。DOCOMOMO は、モダン・ムーブメントにも歴史的価値を見て、その継承を図るために 1989 年に設立され、ヨーロッパを中心に現在 40 以上の国が加盟しています。DOCOMOMO Japan は日本建築学会の建築歴史・意匠委員会と「連携」して近代建築の保存のための活動をしています。

「モダン・ムーブメント」は 20 世紀の建築の主要な潮流のひとつで、「18、19 世紀に端を発する合理主義的・社会改革的な思想や技術革新をベースに、1920 年代、30 年代に西ヨーロッパで明確な形をとり、線や面の構成による美学にもとづいて、40 年代から世界中でつくられはじめた建築」を意味します。日本では 1920 年代からその影響を受けたデザインが試みられています。

その「100 選」のなかに、上記の建物を選ばせていただきました。選定理由は下記の基準に準拠しております。このことをご報告申し上げるとともに、当該建物 (環境) の歴史的価値の維持にご配慮を賜りますようお願い申し上げます。なお、今回、建物名称は初出のものに拠りましたことをお断り申し上げます。お気づきの点がございましたら、ご一報いただければ幸いです。

敬具

- a. 装飾を用いるのではなく、線や面の構成による美学が適用されている。
- b. 技術の成果がデザインに反映されている。
- c. 社会改革的思想が見られる。
- d. 環境形成（広場や建築群の構成）という観点でデザインされている。

篤志家寄付

- 平成16年、篤志家の寄付により熱海市が所有した翌年の**平成17年には基礎調査**が始まった。これは重要文化財指定獲得の為の過程。翌**平成18年8月重要文化財**の指定が許可された。当時昭和の建物で重要文化財の指定を受けたものがなかったなかでの指定で驚異的なものだった。
- 篤志家は単にお金の寄付をただけでなく、取得後の維持管理の為の方策も考え支援した。重要文化財することにより、**改修費用の補助制度**があることからの指定確保でもありました。

2009（平成21年）4月連盟の前身である旧日向別邸保存会の時の感謝祭のもよう。

熱海市取得

篤志家が一億円を市に寄贈
熱海市取得



篤志家・感謝会

重要文化財

重要文化財

建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、次の各号の一に該当し、かつ、各時代又は類型の典型となるもの

指定基準

(1) 意匠的に優秀なもの

- (2) 技術的に優秀なもの
- (3) 歴史的価値の高いもの
- (4) 学術的価値の高いもの
- (5) 流派的又は地方的特色
において顕著なもの

意匠的に優秀なもの

プレス発表資料

- ⑦ ドイツ人建築家が日本に唯一残した建築（近代ノ住居）

旧日向家熱海別邸地下室 1棟、土地

静岡県熱海市

熱海市

旧日向家熱海別邸は、熱海駅の東方約300mの斜面に位置する。

実業家日向利兵衛の別邸で、地下室は上屋の竣工後、地下構造体を利用して造られた。設計はブルーノ・タウトで、昭和11年に竣工した。

平面は、社交室、洋風客間、日本間などを東西に並べ、洋風客間と日本間の背後に床高を利用して上段を設けている。社交室の照明は、天井から竹を二列に吊り、そこから多数の電球を下げて波形をつくる特異なものである。

旧日向家熱海別邸地下室は、伝統素材を多用した社交室、色彩豊かな洋風客間、材料や寸法の整った日本間等、各室の内装がよく吟味され、意匠的に優秀である。

ドイツの表現主義建築を主導し、日本美の再発見に努めた著名なドイツ人建築家のブルーノ・タウトが、日本に唯一残した建築として、重要である。

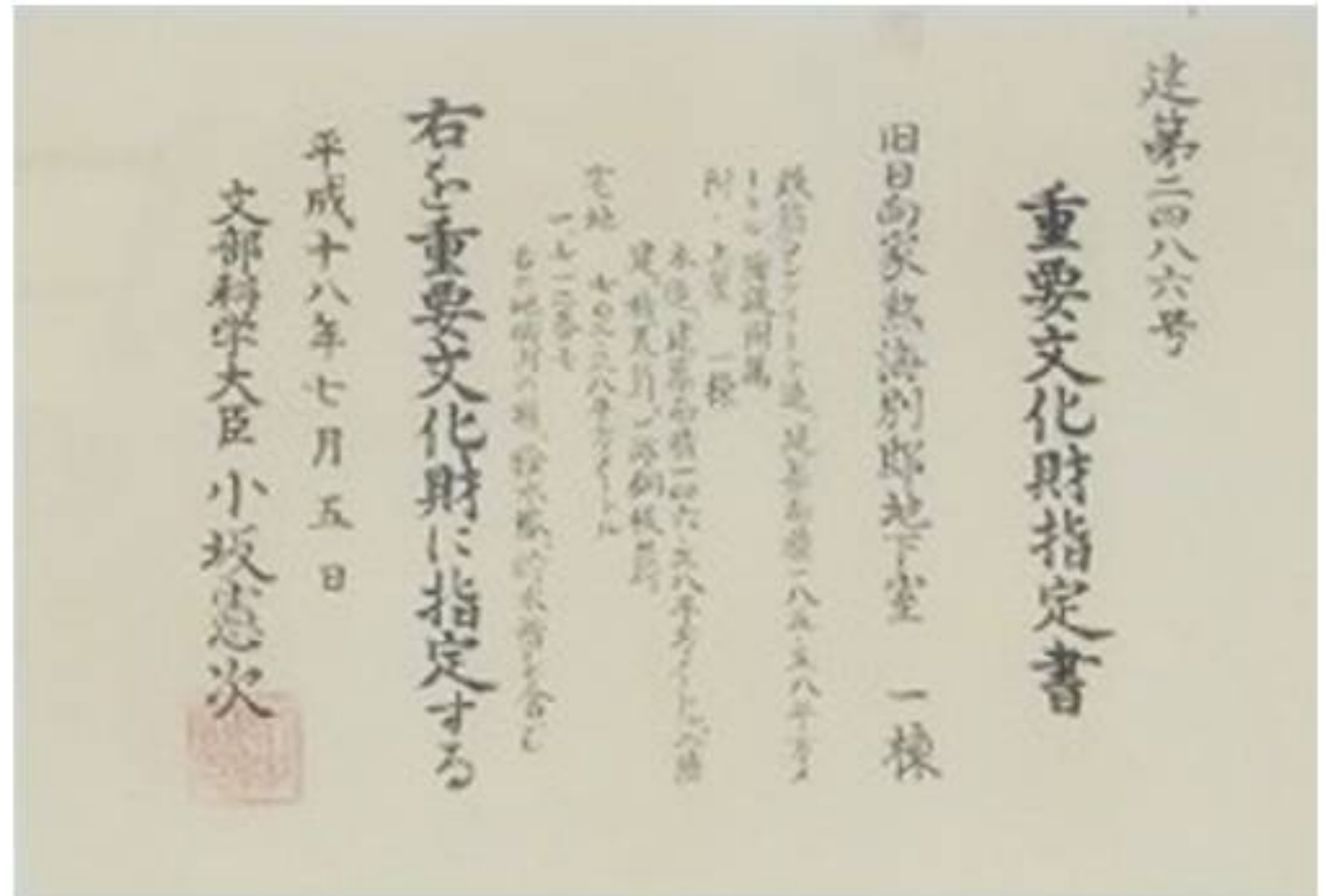
○指定基準＝意匠的に優秀なもの



重要文化財指定書 建第2486号

- 旧日向家熱海別邸地下室 1棟
鉄筋コンクリート造、
建築面積185.58㎡ 階段付属
- 附（つきたり）・上屋 1棟
木造、建築面積146.38㎡
二階建て
- 宅地 702.38㎡
- 平成18（2006）年7月5日

- 指定基準
意匠的に優秀なもの



重要文化財 附・指定 (つれたりしてい)

有形文化財 → 重要文化財 → 国宝

重要文化財は、日本にある有形文化財のうちとくに重要とみなされたもの。

「文化財保護法」に基づき、文部科学大臣が指定したものをいう。

附指定 (つれたりしてい) は、重要な資料だが新たに重要文化財指定をするのは大変ので、

既にある重要文化財の指定番号に「附録の指定」をするというもの。同等の価値

重要文化財の補助金制度

管理の責任者が定められ、また所有者や現状を変更する際には許可を必要とするが、同時に国からその保存に対する補助を受けることができる。

重要文化財 対象 設計、管理、**工事**、公開活用事業 補助額50%

参考：登録有形文化財 対象 上記の設計、管理、公開の設計、管理 50%

現在建造物としての国宝は1,116件 重要文化財は13,232件 有形文化財1,111件

文化財分類・件数

1. 国宝・重要文化財

種別/区分		国宝	重要文化財
美術工芸品	絵画	162	2,037
	彫刻	140	2,723
	工芸品	254	2,471
	書跡・典籍	228	1,919
	古文書	62	780
	考古資料	48	652
	歴史資料	3	225
	計	897	10,807
建造物		(291棟) 228	(5,241棟) 2,523
合計		1,125	13,330

国宝 建造物
全国 291棟 228
静岡 1棟 1件
 久能山東照宮

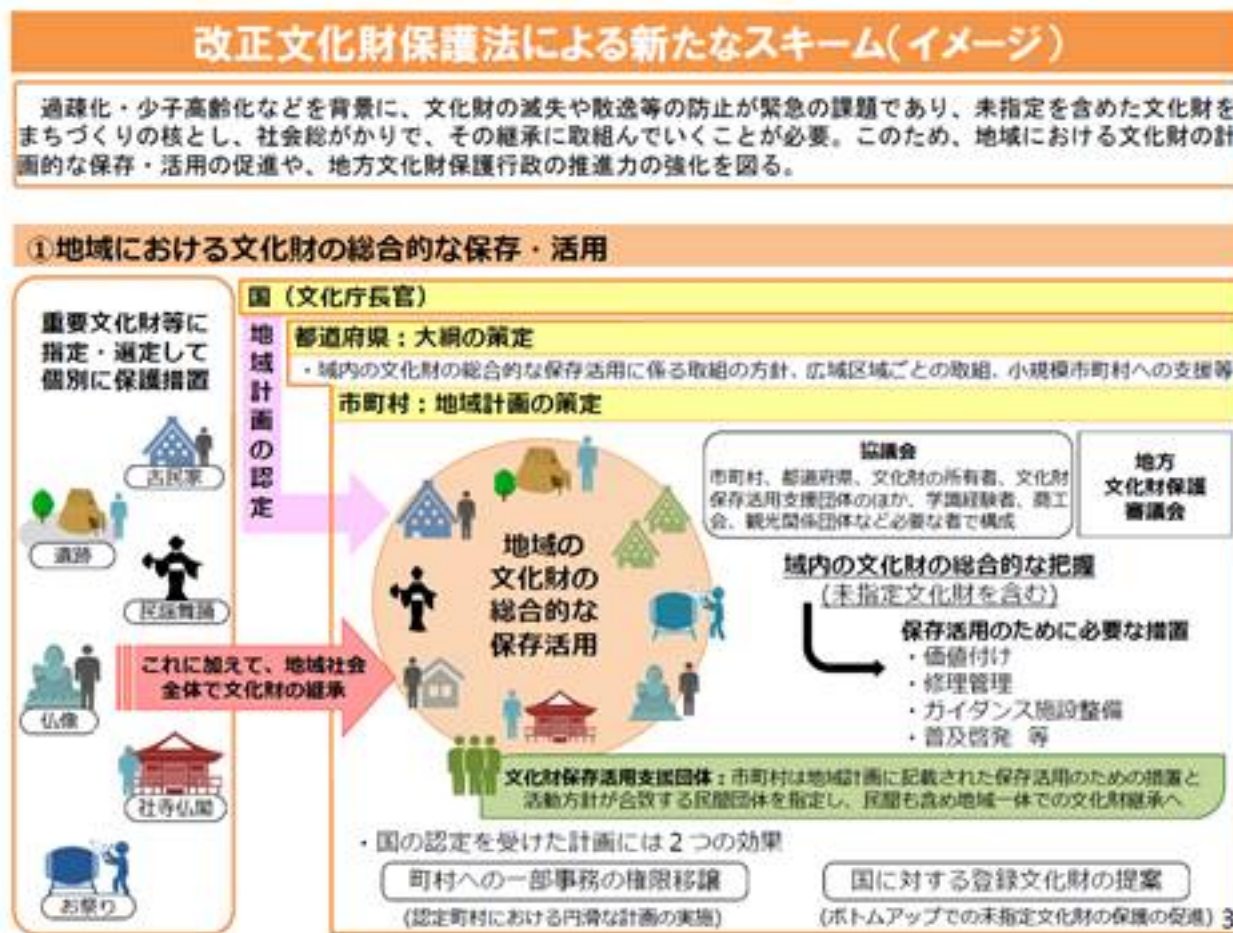
重要文化財
全国 5241棟 2523件
静岡 96棟 33件
 江川家住宅（韮山）
 三嶋大社件など

文化財保護法

「文化財を**保存**し、且つ、その**活用**を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」

平成31年に**改正された文化財保護法**はを通して、地方自治体に保存、活用の権限を委譲し、また**民間団体への委譲**にもその幅を広げている。昨今行政の実ではその維持管理を行うことは難しい。地域の民間団体との共同で行なおうとするものです。

旧日向別邸について市教育委員会とどう協働できるか、業務受託をと通して模索していく。



文化財の体系 図表



タウトの世界遺産

平成20年

6つの中の4つがタウトによる
世界遺産に登録



住宅地名 ㊦	所在地 ㊦	建設年代 ㊦	画像
ガルテンシュタット・ファルケンベルク (Gartenstadt Falkenberg)	トレプトー・ケーペニック区ボーンズドルフ (Bohnsdorf, Treptow-Köpenick)	1913年-1916年	
ジードルンク・シラーパーク (Siedlung Schillerpark)	ミッテ区ヴェディング (Wedding)	1924年 - 1930年	
グロスジードルンク・ブリッツ (Großsiedlung Britz)	ノイケルン区ブリッツ (Britz)	1925年-1930年	
ヴォーンシュタット・カール・レギエン (Wohnstadt Carl Legien)	パンコー区ブレンツラウアーベルク	1928年-1930年	

なぜタウトのジードルングは世界遺産になったのか

- ブルーノ・タウトの建築作品は、建設から80年経た今も壊されるどころか、改修され、好んで住まわれている。日本の住宅団地とは真逆でその違いについての興味研究が盛んだ。その背景にはタウトの建築理念である「自然と住まい」環境への姿勢にあるようである。
- タウトがドイツで活躍してすでに100年がたち、1980年代に入り環境問題への関心が高まるとともに今タウトの再評価がなされている。ワイマール共和国時代にタウトの設計したジードルングの修復や色彩の再現され、自然との融合をはかった彼の建築は人気だ。

ブリッツにつくられた
馬蹄形の集合住宅



ATAMI海峯楼

平成7年

海峯楼は、熱海市春日町8-33、旧日向別邸に隣接した地に1995年（平成7年）3月に、ゲームメーカーのゲストハウスとして建設された。現在は、旅館として「ATAMI海峯楼」の名で営業されている。

私のこの「水／ガラス」という作品の敷地は、そんなタウトの設計した「日向別邸」の隣でした。タウトの作品が熱海にあることも知らなくて、この建物の設計を依頼されて隣に建っていることを知ったときにはたいへん驚いた。ここでも僕は、**せっかくタウトの隣なんだから縁側をやろう**と思ったんですね。それも水の縁側をつくろうと考えた。

（東西アスファルト事業協同組合講演会 物質性とサイバースペースより）



熱海にある建築家・隈健吾の作品



1. ATAMI海峯楼
2. 界熱海古々比の瀧
3. コエダハウス
4. 伊豆の風呂小屋



キュレーションホテル 1

令和2年

キュレーションホテルとは、日本が誇る美の伝統を革新的デザインで未来につなぐ「場」として、選び抜かれた伝統建築素材・伝統工芸・アートが息づく空間での滞在を提供するホテルです。



熱海東山エリアに
キュレーションホテル 須藤水園・桃乃八庵・桃山雅苑 開業

* 左説明文・写真はHOTELIER (ホテリエ) より掲載

熱海新聞 令和3年(2021年)2月21日 (日曜日) 日刊

澤山さん デザイナー 伝統建築守り改修

一棟貸し高級ホテル開業へ

熱海市の東山エリア帯に3月6日、一棟貸しの高級ホテル3施設が挙オープンする。世界的デザイナーの沢山乃利子さんが(古)がプロデュースし、古い旅館などを改修して伝統建築素材・伝統工芸・アートが息づく滞在空間を目指した。地域の美術・工芸を知る旅の拠点にしていきたい。

来月6日、一挙3施設

オープンするのは目黒区伐材などを改装した利きがこだわった伝統桃山町の「桃山雅苑」も建築・工芸・アートな「もやまがえん」、2を兼ねる「キュレ」018年に一部オープンした春日町の「須藤水 あん」。87年の伝統建築を改修した春日町の「須藤水 あん」。築40年余りのコンクリート造りの元保養所をどが留意され、国際的なデザイン賞を得ている。「ザ・キュレーション」(濱一社長、桃山町)が運営し、沢山さんは同社取締役を務める。沢山さんは「ロンドンで17年間デザイン事務を主宰し、割合以上が改築だった。工法は伝統工法で法律も整備

され、築100年以上の家や街並みは未来永劫(えいご)守られている。日本にも伝統建築や工芸はあるが、いとも簡単に壊され、新建材に合わなくなった伝統の技や工芸品は行き場をなくす現実がある。日本の伝統を守り後世に伝えることが、英国で伝統建築の修復を生業とした私の使命。ビジネスと併用できる手段としてキュレーションホテルを作った。長くロンドンと熱海の2拠点生活をしながら、私にとって、熱海でスタートできたことほが「上のない幸せ」とコメントした。

ホテルはいずれも素泊まりで桃乃八庵と須藤水園は20万円から、桃山雅苑は32万円から。予約は専用ウェブサイトで行う。

新たに開業する須藤水園 | 熱海市春日町 | 提供写真

熱海新聞
熱海市中央町19-14
コルト山ビル1F
〒413-0015
電話 0557 (81) 0648
FAX 0557 (83) 3553
伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話 0557 (36) 1234
伊豆新聞デジタル
https://digital.tzu-np.co.jp

キュレーションホテル 2

令和2年



桃乃八庵(とうのやあん)

築88年の元旅館別館で、5年間放置され朽ちて解体寸前だった古民家を、耐震ならびに住宅性能改修含めフルリノベーション。

当時の伝統意匠を残し、素材と大工の技術、オーナー/デザイナーで集められた工芸品や現代アートから新旧・洋が融合された。

熱海ブルーノ・タウト連盟



須藤水園(すとうすいえん)

築87年の伝統建築を改修、オリジナルの意匠を生かしつつ、金と青をキーカラーに、琳派を思わせる華やかなデザインに仕上げています。美術篤志家一族が、何代にもわたりこの家のために集めた美術品が煌めきます。

* 説明文・写真はHOTELIER (ホテルエ) より掲載

タウト塾@熱海 オンライン講座7月 No.07 旧日向別邸-4



「緑の党」 に引き継がれたタウトの理念

1989年ベルリンの壁が崩壊され、東西ドイツの垣根が取り払われ、緑の党が誕生した。

その党の結成の中心メンバーであるオットー シリー氏はブルーノ タウトの環境に対する考えに強く憧憬した人物です。

オットー氏はタウトの孫であるクリスチーネと結婚しひ孫に当たるジェニー シリーを生み現在女優として活躍している。

タウトがドイツで活躍してすでに100年がたち、1980年代に入り、にわかに環境問題への関心が高りつつある時代でのことであった。



オットー シリー (元・緑の党)



ジェニー シリー (ひ孫・女優)

初島中学生

旧日向別邸 見学 短歌を詠む

日向別邸に思いを馳せて

熱海市立初島中学校・2年 大西拓末
地下にある壁の色彩個性的

ドイツと日本昔の技術

熱海市立初島中学校・2年 田中健太
木々の中ひっそりたたずむ日向別邸

ブルーノ・タウトの若き日思う

熱海市立初島中学校・3年 坂本拓哉
木々の中 ブルーノ・タウトの屋敷あり

長い眠りをこの日覚ました

熱海市立初島中学校・1年宮下水希

日向別邸 カーテンに似た竹の戸が

すっかり部屋に溶け込んでいた

熱海市立初島中学校・2年 田中博観

木々のなか深紅の壁にかこまれて

京都を感じる日向別邸

熱海、箱根の不思議発見



初島中が2泊で自然教室
全生徒5人
魅力を体感

中井さんの説明を受けながら旧日向別邸を見学する生徒たち＝春日町で

初日は春日町の旧日向別邸は、二十世紀前半はボンディアのタウト邸から見学を始めた。旧するドイツの建築家ブルノ・タウトの設計した日本に「洋間」で構成されている。残る唯一の「洋間」で構成されている。実作、熱海フドウ色に染めた桐の壁紙、間接照明など、桂離宮が昨年購入した特徴を説明。波打つ九月からの「地下室から初見学が初めて」という。生徒たち

話した。生徒たちは、熱心に中井さんの説明を聞きながら、隅々まで見て回った。生徒たちはその後、起雲閣や来宮神社、熱海梅園などを見学。夜は市立少年自然の家で宿泊した。八日は箱根を見学し、再び自然の家に戻る予定だという。

熱海市立初島中学校（後藤登校長）は七日から九日まで二泊三日の日程で、自然教室を行っている。「熱海、箱根の不思議発見」をテーマに、全生徒5人が熱海と箱根の文化施設、自然などを見学しながら、両市町の魅力を体感している。

初日、まず旧日向別邸見学

初日は春日町の旧日向別邸は、二十世紀前半はボンディアのタウト邸から見学を始めた。旧するドイツの建築家ブルノ・タウトの設計した日本に「洋間」で構成されている。残る唯一の「洋間」で構成されている。実作、熱海フドウ色に染めた桐の壁紙、間接照明など、桂離宮が昨年購入した特徴を説明。波打つ九月からの「地下室から初見学が初めて」という。生徒たち

2005-S17年6月8日（見学6月7日）
熱海新聞

多賀そば タウトの椅子・机



日向は東山以外にここを別荘としていました。

日向はタウトがデザインした椅子、机を譲りうけてここに置かれています。

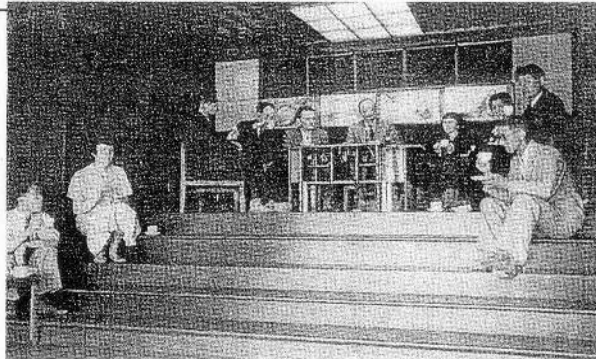
お願いすると見せて頂きます。



保存、活用への取り組み

旧日向別邸保存会 タウト熱海会 の活動

東京新聞 平成21年4月12日(日曜日)



設計した旧別邸の離れで完成後に撮影されたタウト(中央)。「タウト芸術の旅 アルプス建築への道」(土肥美夫著 岩波書店)より

タウトの遺産 保存へ基金

熱海で設立総会 市民ら50人参加

熱海市の国指定重要文化財・旧日向別邸の保存会設立総会が十二日、同市の起雲閣で開かれた。

世界的建築家ブルーノ・タウトが日本に唯一残した文化遺産の保存に基金を設けるなど資金面の支援に取り組み、調査・研究、啓発も民間サイドで進めていく。

旧日向別邸

総会には会員やタウトに関心のある市民ら約五十人が参加。旧日向別邸でボランティアガイドを四年間続けている中井正勝さん(左)を会長に選任した。

中井さんは「民間から行動に移し、全国に熱海の文化を発信し、アピールしていきたい」と就任のあいさつ

熱海新聞 平成21年(2009年)4月8日(水曜日) 日刊

旧日向別邸を守れ

市民有志
12日に保存会設立総会
「多くの協力呼びかけたい」

代表 中井 正 勝

熱海市有数の観光地である旧日向別邸。その保存を目的とした「旧日向別邸保存会」の設立総会が十二日、同市の起雲閣で開かれた。世界的建築家ブルーノ・タウトが日本に唯一残した文化遺産の保存に基金を設けるなど資金面の支援に取り組み、調査・研究、啓発も民間サイドで進めていく。

総会には会員やタウトに関心のある市民ら約五十人が参加。旧日向別邸でボランティアガイドを四年間続けている中井正勝さん(左)を会長に選任した。

中井さんは「民間から行動に移し、全国に熱海の文化を発信し、アピールしていきたい」と就任のあいさつ

熱海市有数の観光地である旧日向別邸。その保存を目的とした「旧日向別邸保存会」の設立総会が十二日、同市の起雲閣で開かれた。

世界的建築家ブルーノ・タウトが日本に唯一残した文化遺産の保存に基金を設けるなど資金面の支援に取り組み、調査・研究、啓発も民間サイドで進めていく。

総会には会員やタウトに関心のある市民ら約五十人が参加。旧日向別邸でボランティアガイドを四年間続けている中井正勝さん(左)を会長に選任した。

中井さんは「民間から行動に移し、全国に熱海の文化を発信し、アピールしていきたい」と就任のあいさつ

熱海新聞社
熱海市上野原11-4
〒413-0278
電話 0557-312640
FAX 0557-312124

印刷部
印刷部 印刷部 印刷部
印刷部 印刷部 印刷部
印刷部 印刷部 印刷部

INCI
三井写真真館

日本・旧日向別邸 ⇔ ドイツ・タウト

タウトのリカ系統の孫
Susanne Kiefer Tau

交 流

孫 Christine Schilly



ベルリンの芸術アカデミー
ブルーノ・タウト担当 Petra Albrecht



これからの取り組み

生み・育まれ・繋がれ・蘇った「旧日向別邸」
どう**持続可能**に**保存**し**活用**していくか

地 霊

持って生まれた
東山の能力
の確認・活用

生・育・繋・蘇

国民の財産

日本国民の物的、
知的財産

旧日向別邸を
全国民広く
広報・深化

地域の誇り

東山文化
コミュニティー

東山トリオ
町内会

観光資源

熱海市の
文化
歴史観光資源

**熱海国際観光
温泉文化都市**

仲間づくり

世界のB.タウト
関係者集合

**タウト
コミュニティー**

地 霊

生み・育み・つなぎ・蘇る 東山のパワー



旧日向別邸保存活用計画

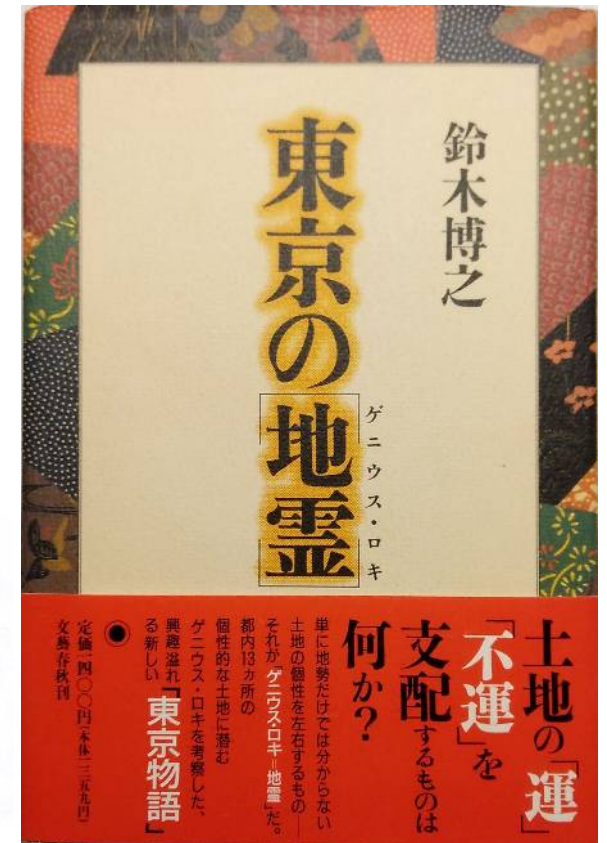
平成 20 年 3 月
熱海市



建築史家・
鈴木博之先生

旧日向別邸等研究委員会 委員構成

- 座 長 鈴木 博之 (東京大学工学系研究科 教授)
- 副座長 藤森 照信 (東京大学生産技術研究所 教授)
- 兼松 紘一郎 (株式会社兼松設計 代表取締役)
- 建部 恭宣 (日本建築専門学校 教授)
- 西澤 泰彦 (名古屋大学大学院環境学研究科 准教授)
- 藤田 香織 (東京大学大学院工学系研究科 准教授)



鈴木博之

東京の地霊

ゲニウス・ロキ

土地の「運」
「不運」を
支配するものは
何か？
単に地勢だけでは分からない
土地の個性を左右するもの
それが「ゲニウス・ロキ」地霊だ。
都内13カ所の
個性的な土地に潜む
ゲニウス・ロキを考察した、
興味溢れ「東京物語」
る新しい

定価 四〇〇円 本体 三五九円
文庫 存続刊

昭和をつくった東山の原点・能力を知り・生かす



東山トリオを活動拠点に

東山の小さな丘の上には、三つの個性的な施設が肩を並べて建っています。
またその周辺にも熱海の昭和レトロが・・・。
偶然が生んだ必然の力を活動の原動力に！



ATAMI海峯楼

1997・H7
設計：隈研吾

建築家つながり



旧日向家熱海別邸

1936・S9
設計：ブルーノ・タウト
国重要文化財



東山荘

1933・S8
岡田茂吉
国登録有形文化財

時代つながり

ここ熱海の東山(春日町)は、「産み・保持・進化」させるチカラをもった不思議な地域！ 熱海ブルーノ・タウト連盟

熱海国際観光温泉文化都市づくりに向けて

熱海をブルーノタウト・日本のメッカに!

ブルーノ・タウト 重要文化財「旧日向家熱海別邸」
2022年4月リニューアルオープン（予定）

これを機会に旧日向家熱海別邸を
生み・育み・繋いできた
東山の地が持つ昭和力を活用し全国に向けアピール!
熱海を“ブルーノタウト・日本のメッカ”とし
熱海国際観光温泉文化都市
の基としていきます。

— 熱海ブルーノ・タウト連盟 —

建築家ブルーノ・タウトが日本に残した唯一の現存施設「旧日向別邸」が熱海に存在する意味は「タウトの日本のメッカ」づくり。
令和4年4月の再公開を機にタウト及びタウトの遺産を活かすべく、当会は発足し、タウト塾の開催となりました。進めるにつけ思うこと、それは「仲間づくり!」多くの関係者の集まりの必要性です。
建築家の領域に留まらないタウトは「生きる・環境」という領域での見直しの下で、未だになお生き続けその重要性を増しています。



タウトの関係都市、団体、個人が集まり自由に交流し、学び、活動する場があればなんと素晴らしいでしょう。活動する仲間の場づくりこそが施設を持つ熱海の「責務」であり、熱海国際観光温泉文化都市の形成です。そんな想いで今後も活動を進めて参ります。
旧日向別邸を取り巻く講座はこれで中締めとなります。次回は田中名誉教授による「ブルーノ・タウト」の講座です。お楽しみください。
ご清聴ありがとうございました。

タウト塾@熱海

令和3年度
オンライン講座
第7回
旧日向別邸 IV

07

2021
7月
No.07

熱海ブルーノ・タウト設置

旧日向別邸・3+1の恩恵

第1の恩恵	第2の恩恵	第3の恩恵	3+1の恩恵
ブルーノ・タウト 滞日3.5年間	日本カーバイド工業 保険所 紫翠荘・5.2年間	箕志家一億円提供 熱海市が取得	令和4年の 再公開

No.07 END